A blue and black logo

Description automatically generated with low confidence

**Cardo Systemsが画期的なソフトウェアアップデートを発表**

**Cardoユーザーは他社の主要なBluetoothインカムと自由に接続が可能に**

パワースポーツライダー向けワイヤレス通信のグローバルマーケットリーダーCardo Systemsは、本日、業界間の横断的なBluetooth接続に対応する新しいソフトウェアアップデートを発表しました。この最新ソフトウェアリリースを適用することで、Cardo以外のブランドとのBluetoothインカムの接続が、Cardoインカム同士のBluetooth接続と同様にシームレスかつ柔軟に行えるようになります。Cardoは従来より、業界全体におけるBluetoothの標準化を追求し、ライダー間でよりスムーズな通信を実現することに注力してきました。今回さまざまなブランドのコミュニケーターに対してBluetooth接続を可能にすることで、Cardoは業界にさらなる大変革をもたらすことになります。

Cardoは、Open Bluetooth Intercom（OBi）の立ち上げを契機に、国際的な独立系調査会社に市場調査を依頼しました\*。その結果、消費者は、異なるブランドのインカムを持つライダー間での接続について、直感的で簡単な方法を求めていることがわかりました。Cardo SystemsはOBi規格を通じて、すでにブランドの垣根を越えたトップレベルの他社機との接続通信を提供し、メッシュ技術により業界をリードしてはいるものの、Cardoの開発者はより多くのブランドを包括するという挑戦に果敢に挑んできました。

Cardo Systemsの最高マーケティング責任者Dan Emodiは、次のように述べています。「世界中のオートバイ用インカムユーザーを対象に調査を行ったところ、「通信満足度を向上させるためには、何が必要だと思いますか」という質問に対して、多くの回答者が「他のブランドのコミュニケーターとのインカム接続」と回答しています。当社は、お客様の利便性を高める機能の提供に常に取り組んできました。特に、今回のアップデートは選択肢の幅を広げ、自由度と柔軟性を高めることにより、当社製品のユーザーの皆様と他のブランドのインカムを持つライダーの方々にさらなる独立性を提供するものとなります。」

今回のソフトウェアアップデートは、最上位機種のPACKTALK EDGEからSpiritまで、2023年現在販売されているすべてのCardoインカムに無線を通じて配信されます（ただしPACKTALK SLIMを除きます）。これにより、Sena、Midland、Uclearの現行機種と簡単に接続できるようになります。複雑なペアリング手順にうんざりしたり、携帯電話との接続が失われる、通話を受けられない、ナビゲーションを受信できないなどのフラストレーションを感じたりすることはもうありません。すべてのユーザーが、同じインカムブランドとの接続と同じような実感を得られるようになります。今回の他社ブランドを横断する接続でサポートされない唯一の機能は、音楽の共有です。これは、2世代にまたがるCardo製品間でもサポートされていません。

ソフトウェアの最新版は、Cardo Connect アプリから無線でダウンロードできます。インストールすることで、この機能をアクティブにできます。ペアリングや接続の際に、特定のボタンを組み合わせて押すなどの操作は一切必要ありません。最新のバージョンとアップグレードはすでに配信されているため、Cardo Connectアプリを開くと、自動的にポップアップ画面が表示されます。

Cardo Systems製品のフルラインアップについては、[www.cardosystems.com](http://www.cardosystems.com/)をご参照ください。

**Cardoについて**

Cardo Systemsは、最先端技術を搭載したライダー向け通信機器を通じて、オートバイライダーやアウトドアやアドベンチャーを愛する方々に、携帯電話や音楽との接続、仲間同士の接続を提供しています。Cardoは、2004年に世界初のBluetooth対応オートバイ用ワイヤレスインカムヘッドセットを発売して以来、オートバイ用通信業界のイノベーションを一手に担ってきました。例えば、業界初のメッシュ技術搭載インカム、業界初のJBL搭載プレミアムサウンドシステム、業界初の音声対応機器などが挙げられます。Cardoの製品は、現在100以上の国で販売されており、世界をリードするライダー向け通信機器となっています。

*\*2400名の回答者を対象としたコミュニケーターに関する調査（2023年4月に発表）*